

飛行船



いのちの大切さを聴く

11月16日(水)の6校時、古賀先生にお越しただいて、「いのちの教育講演会」がありました。古賀先生はとてもお話しが上手で、1時間の講演会があっという間でした。

一人一人のもっているその命が、とても大切なものだと思いが、また一歩、大人に向けて歩みを進めることができたと思います。

“生まれてくる”ということの素晴らしさ

“ひと”は、お母さんのお腹の中でおよそ40週かけて、お母さんから酸素と栄養をもらい、大きく育ってから生まれてきます。その間、お母さんにも変化が現れます。つわりが起こるようになったり、お腹が大きくなってくると、胃が押し上げられてムカムカしたり、重いお腹を支えるのに腰が痛くなったりと。そして最後には、とても痛い陣痛に何時間も耐えて我が子を生み、ようやく出会えるのです。

説明に出てきたインタビューや映像からは、お腹の中で育っていく間の不安や喜び、生まれてきてくれた瞬間の幸せがとても伝わってきて、言葉にできないほどの感動を受けました。

講演会后、意識の変化

事後アンケートを読むと、「自分の命は大切であり」、「自分には価値がある」という想いが芽生えた、もっと強くなった。という人がたくさんいました。自分が愛されて生まれてきたこと、家族に大切に育てられてきたことを意識することができたのだと思います。

また、家族や自分以外の人への気持ちにも、今まで自覚してこなかった想いに気付いた人が多かったようです。家族への感謝の気持ちでいっぱいになったことや、仲間を大事にしたい、子育てを頑張っている人を手伝いたい、という気持ちを書いてくれていました。

皆の感想

- ・自分が生まれてきたことは、本当に奇跡なんだな、と思いました。これまでよりも一層、家族に感謝したいです。
- ・本当に良かったです。特に、動画の赤ちゃんを生んでいるときのシーンが、泣きそうになりました。
- ・お母さんたちは本当に苦労して育ててくれていて、自分の命は大事なものなんだ。と思いました。そして、自分だけでなく、周りの人の命も大切にしなければならない。と思いました。
- ・赤ちゃんを生むということは大変なんだな、お母さんに生んでくれてありがとう、と思いました。僕がお父さんになるときは、全力でサポートしようと思いました。
- ・今までは、赤ちゃんを生むのは怖い、痛そう、という思いばかりでしたが、親への感謝が深まったり、自分も赤ちゃんがほしいな、と思ったりしました。
- ・命が大切だということを知りました。妊婦の人がどれだけ大変な思いをしているのかを知りました。
- ・「命は大切」ということは分かっていたけど、どのように大切なのかはよく分かっていなかったです。でも、今日の「いのちの教育」で学んで、理解できました。
- ・とてもいい話を聞くことができました。親が大変な思いをして生んでくれた命を大切に、親孝行をしたいです。これからは、親のしてきた苦労の分も頑張りたいです。
- ・自分は、お腹の中にいるときも、生まれてきてからも、大切に育てられてきたんだな、と思いました。
- ・自分が大切なのはもちろん、周りの人も、その人の家族にとって宝物なんだ、と実感しました。私も赤ちゃんがほしいと思いました。そして、幸せな家庭をつくりたいです。
- ・お腹の中で赤ちゃんが育って行って、その途中、途中の赤ちゃんのようすと、そのときのお母さんの気持ちも聞けて、とても良かったです。
- ・お腹に赤ちゃんがいる人はとても大変だと思いました。もし、電車などで見かけたら、席を替わったり、できることを積極的に手伝ったり、していきたいと思いました。
- ・妊婦さんはすごく大変な思いをしてるんだな、と思いました。でも、赤ちゃんがお腹を蹴ってるところや、生まれた赤ちゃんの顔が可愛かったことが印象的で、素敵に思いました。

皆も家族から愛され、たくさんの人から祝福されて、生まれてきたのです。自分や仲間の命がとても尊いものであると心に刻み込んで、これからの人生を大切に生きていくことを願っています。